

# Newsletter

映画英語教育学会 九州支部  
The Kyushu Chapter of  
the Association for Teaching English  
through Movies (ATEM)

第4号

2006 (平成18)年3月20日  
映画英語教育学会 九州支部事務局 発行

〒803-0835 福岡県北九州市小倉北区井堀1-3-5  
西南女学院大学 人文学部 八尋春海 研究室  
TEL/FAX: 093-583-5720  
E-mail: kyushu\_office@atem.org

編集: 與古光 宏・多賀亜紀・中島千春

## Contents

page 1 巻頭言

page 2 第12回全国大会案内 / 映画のトリビア

page 3 第8回支部大会案内 / 九州支部新会員自己紹介

page 4 STEM大会案内 / 編集後記 / 映画ショッキング

## いざ見せん、我ら九州人の心意気

映画英語教育学会 九州支部

副支部長 秋好 礼子 (福岡大学人文学部)

さて問題です。野球界の人気者、城島選手と新庄選手、そして本支部との共通点は何でしょう？...あまりのこじつけとお笑いかもしれませんが、答えは九州(出身)です。私事で恐縮ですが、私はスポーツ観戦が大好きです。特に野球。市内に仮住まいを得てからは、応援歌や“Take me out to the ball game”を口ずさみながら、自転車で40分程度かけてドームへ行き、ホークスの一打一打に一喜一憂しています。勝っても負けても、帰る道すがら、熱戦をライブで楽しめる幸せを噛み締め、同行の仲間と「福岡に住んでよかったねえ」と飲みながら語る、これまた幸せ。

閑話休題、この城島選手と新庄選手、皆さんご存知のように、長崎と福岡の出身です。二人を見ていると、九州人の気質を感じずにいられないのは私だけでしょうか。常にチームメイトを慮り、盛り上げ、励ます、ムードメーカーであるだけでなく、ファンや記者を楽しませるサービス精神、コミュニケーション力の素晴らしいこと。尚且つ、その視線はチームの勝利に留まらず、国内の野球界の発展、またそのためのメジャー進出と、常に広く、遠くを見えています。新庄選手に至っては、人を喜ばせるために本心以上のことを言ってしまう、博多弁で言う「のぼせもん」のレッテルを貼られてしまいがちですが、人目につかない所でトレーニングや自己管理をしているからこそ、あのプレイができ、野球人気を憂うからこそ、あのパフォーマンスに出ているのです。

ATEM九州支部も、まさに同様の傾向があるように思います。支部大会では、映画の名曲がピ

アノの生演奏付きで歌われたり、映画オタクコンテストと銘打ったゲーム(景品つき!)が行われたり、研究発表の前にちょっとしたおまけが必ずついていて、初めての参加者でも楽しんでいただける、興味をもっていただける趣向がなされています。会を盛り上げるこの事に関しては、本支部は天下一品。九州人の性格を遺憾なく発揮し、年々会員を増やしています。勿論、それだけではありません。前述の2選手同様、各人が表立たない所で研鑽を積み、多くの人を開眼・感嘆させる学会発表や著作で、知的好奇心を大いに刺激してくれます。研究発表の場を、九州、全国、海外と、どんどん広げていこうという意欲が強いのも、本支部の特徴のように思われます。

九州人は、昔からコミュニケーションに優れていると言われます。古くから海外との交渉が九州各地で行われたということが、その理由の一つに挙げられています。その九州の地で、英語を道具として、コミュニケーション技術を教えることが我々の使命。一面的な特徴を普遍化するわけではありませんが、我々は九州人としての資質を自信とし、特徴ある研究や指導法をどんどん九州から発信できるのではないのでしょうか。

今秋、日本コミュニケーション学会、日本比較文化学会、そしてATEM、各九州支部共同で、「映画英語・コミュニケーションフェスティバル2006」を開催します。この場でも、決して退屈することのない企画の数々をご披露できるはずです。参加条件は全くなく、どなた様も大歓迎。多くの方々のご来場、ご参加を願っております。

## 第12回全国大会案内

第12回全国大会が下記のように開催されます。

日時：2006年7月1日(土)  
9時30分～17時30分(予定)

場所：フェリス女学院大学

住所：神奈川県横浜市中区山手町178

基調講演者などの詳細は、4月中旬に最終決定されますが、第一候補にはさる有名な映画評論家の名前も挙がっています。乞うご期待！

### 発表応募要領

申し込み締め切り：2006年3月24日(金)

申し込み先：

- ・E-mail：office@atem.org  
(映画英語教育学会 事務局)
- ・郵送、FAX：  
〒464-0025 名古屋市千種区桜が丘292  
映画英語教育学会 事務局  
電話：052-789-0978  
Fax：052-789-1254

### 記載事項：

1. 発表題目
  2. 発表者名(全員、ふりがな付き及びローマ字表記のこと)
  3. 所属(全員、英語表記も併せて)
  4. 連絡先住所
  5. E-mail アドレス
  6. 電話番号
  7. 発表時の使用言語
  8. 使用機器(ただし、開催校で準備できない場合もあります)
  9. 概要  
(日本語発表の場合...日本語で400字  
英語発表の場合.....英語で200words程度)
- \* 発表時間は30分間です。

### 採用可否：

2006年4月28日までにE-mailにて連絡

(文責：多賀 亜紀)

## 映画のトリビア vol.04 ～コメディ映画が好き～

洋画を見始めたのは、チャップリンのサイレント映画からである。それから、白黒テレビで吹き替えの洋画を見、その時以来、イングリッド・バーグマンが好きになった。番組の終わりに流れていたラフマニノフ作曲の「パガニーニの主題による狂詩曲」が今でも好きな曲の一つである。

中学生の時に見た『哀愁』、『エデンの東』が印象に残っている。高校生の時に見たものでは、『誰がために鐘は鳴る』、『カバーガール』、『風と共に去りぬ』、『アンネの日記』が印象に残っている。

最近、昔見た映画を見直しているが、リタ・ハイワースのある作品を見て、下品な印象を受け、なぜ昔彼女に魅力を感じたのか、分からなくなった。

ヴィヴィアン・リーは一時いいと思わなかったが、『欲望という名の電車』を見、彼女の演技は、天才と何とかは紙一重のそれで、彼女を見直した。

ディアナ・ダービンの歌う「乾杯の歌」は、SPレコードで聞いていたが、『オーケストラの少女』を見直して、再度の感涙。彼女の対抗馬であったジュディ・ガーランドも好きである。

ジョディー・フォスターも好きな女優の一人で、『白い家の少女』を見直したが、昔ほど可愛いとは思わなかった(この作品に流れているショパン作曲の「ピアノ協奏曲第1番」は、一番好きなピアノ協奏曲である)。他に『タクシー・ドライバー』、『ダウンタウン物語』など、若いときの作品の方が好きである。

吉本新喜劇の見過ぎと、涙腺の弱さのために、基本的には、コメディ映画を見るようにしている。ウッディー・アレンの作品は、殆ど見ているが、彼の神経症のところが好きである。他にも、コメディ映画の監督で好きな人はたくさんいるが、ピリー・ワイルダー、ブレイク・エドワーズが特に好きである。ザッカー兄弟、ファレリー兄弟の作品も集めて見ている。

今後も、映画では、コメディ映画を中心に見ていくことになるだろう。

(秋山安永)

## ■第8回九州支部大会案内■

第8回九州支部大会が、下記のように開催されます。

日時：**2006年10月7日(土) 13時より**

場所：西南学院大学

住所：福岡市早良区西新 6-2-92  
(地下鉄西新駅からすぐ)

懇親会：大会後、西新界隈にて  
(会費 4,000 円の予定)

### 発表応募要領

申し込み締め切り：**2006年8月31日(木)**

申し込み先：事務局長 八尋 春海 宛

・E-mail：kyushu\_office@atem.org

・郵送、FAX：

〒803-0835 北九州市小倉北区井堀 1-3-5  
西南学院大学 人文学部 八尋 春海  
電話&Fax：093-583-5720

### 記載事項：

1. 発表者名 (ふりがな)・所属先名・職名
  2. 連絡先 (E-mail アドレス含む)
  3. 発表タイトル
  4. 発表概要 400 字～800 字
  5. 使用機器の有無
- \* 発表会場には AV 機器を準備しております。  
\* 発表時間は質疑を含めて 30 分間です。

なお、翌日 (10 月 8 日) には、同会場にて、午前 10 時より「映画英語&コミュニケーションフェア 2006」が開催されます。

(文責：中島 千春)

## ■「映画英語&コミュニケーションフェア 2006」 アイデア募集案内■

昨年、支部大会やニュースレター等でお知らせしておりました、フェスティバルの名称が決まりました。「映画英語&コミュニケーションフェア 2006」です。3つの学会 (日本コミュニケーション学会、日本比較文化学会、映画英語教育学会) の九州支部が主催・開催します。開催日は、本年 2006 (平成 18) 年 10 月 8 日 (日)。会場は、西南学院大学の 1 号館と 2 号館です。この前日には、同大学に於いて九州支部大会も行います。このフェスティバルの内容は、映画の試写会 (2 回上映) と「映画オタクコンテスト」を全体会場

にて行い、各会場ではいろいろなコーナーを設けて、一般市民、学生、教師など幅の広い参加者を集める計画です。どなたか、ボランティアで講演、映画を使った授業、LL、CALL、異文化間理解教育等できる方はおられませんか? ご連絡は、支部の事務局 (kyushu\_office@atem.org) までお願いいたします。(文責：高瀬 文広)

## ■九州支部新会員 自己紹介■

(五十音順、敬称略)

### ・井上 由美 (九州産業大学<非>)

大学で教え始めて 6 年程。遅いスタートでしたが、この学会のおかげで、最近やっとこの業界(?) のことがわかってきたところです。どうか皆様お導きを。Robin Williams の大ファンです。

### ・延命 記美秀 (福岡県立福岡中央高等学校)

好きな映画は“Midnight run”や“Back to the future”それに“Over the top”などです。先輩方より多くのことを学び、新しい映画も見たいと思います。

### ・小林 明子 (東海大学付属大五高等学校)

大好きな洋画と洋楽を合体させた『スクール・オブ・ロック』を地で行く授業でわいわい楽しくやっています!

### ・ドーハティ・シンシア DAUGHERTY, Cynthia (西南学院大学)

I now teach at Kyushu Institute of Technology. From April I am moving to Seinan Gakuin University where I hope to put many ATEM ideas to use in the classroom.

### ・永富 智子 (北九州市立大学 2年生)

ケイリー・グラント主演の『めぐり逢い』にめぐり会った時の感動は大きかった。今まで様々な映画に出会い、映画の魅力に魅了されたが、その中で最も好きな作品である。

### ・中村 茂徳 (萩国際大学)

英国のナショナル・トラストを中心に、コモンズやオープン・スペースへのアクセスの意義について研究しています。今年は、イングランド北部の湖水地方で、環境保全と観光の共存的可能性の視点から、フィールドワークを計画しています。

### ・南部 みゆき (宮崎大学大学院)

書店で SCREENPLAY を知って以来、お気に入りの映画をまるごと録音し、何度も聴くという英語学習を続けて 15 年。記念すべき最初の映画は“TOP GUN”でした。

### ・島山 均 (長崎純心大学)

何かスマートであるが意味不透明な言葉「コミュニケーション」。そんな「コミュニケーション」を軸に、文化理解、人間関係、英語の習得について統一的に研究しています。

### ・馬本 鈴子 (福岡大学付属看護専門学校)

興味がある映画のテーマは、イギリス、チックフリック、文学、西洋からみた日本などです。ATEM の活動を通して楽しみながら向上していきたいです。どうぞよろしく願いいたします。

### ・吉川 哲郎 (北九州市立大学)

ミュージカルのファンです。好きな映画は『42番街』『シカゴ』『ムーラン・ルージュ』。好きな俳優はアステア&ロジャーズ、ドリス・デイ、ニコール・キッドマン。

## ■■■■第11回STEM大会案内■■■■

毎年4月に開催されるSTEM大会は、本年は4月22日(土)に、ソウルの漢城大学(校)

(Hansung University :

<http://www.hansung.ac.kr/eng/index.jsp>)で行われます。Lee会長の国民大学の近くにある大学です。参加者は航空チケット代と「大学のゲストハウス」又は「ホテル」代(一泊5,000円程度)を払う必要がありますが、食事や懇親会、観光費用等は全てSTEMが負担しますので、VIP気分に参加できます。毎年、九州支部から10名ほどの参加があります。今回は、すでに関西支部から4名の参加希望が出ております。皆様の、STEM大会での研究発表&参加のご連絡をお待ちしております。ご連絡は、支部の事務局(kyushu\_office@atem.org)までお願いいたします。(文責:高瀬 文広)

## 編集後記

今回のニューズレターも、多くの会員の方々のご協力を頂いて、無事に発行することが出来ました。執筆者の皆さん全員に、心より感謝申し上げます。さて、ご案内しましたように、今年10月に『映画英語&コミュニケーションフェア2006』が開催されます。これを機に、会員の方々はもちろんのこと、新たな会員の方にもお会い出来ることを願っております。(文責:與古光 宏)

## 映画ショッキング Vol. 04

～アニメ映画の役割??～

私が出産で休暇を取っていた数ヶ月間、姪(2才)とほぼ母子の関係で過ごす時間をもった。2才と言えば「餓鬼」という言葉がよく当てはまるやんちゃな年齢。ごっこ遊びを覚え、延々と遊びたがる姪に疲れきった私は時間稼ぎが必要となった。そこで思いついたお助けアイテムが「アニメ映画」。もともと姪は、「メイちゃん」になりきるほど『となりのトトロ』のファンであったので、役に立つだろうと考えたのだ。ジブリ作品からは、『千と千尋の神隠し』、『ハウルの動く城』、『魔女の宅急便』、『天空の城ラピュタ』。それから『ライオンキング』、『美女と野獣』、『シンデレラ1・2』、『シュレック2』、『マダガスカル』に『くまのプーさん』を見せてみた。彼女にヒットした作品は、好評を博した『千と千尋』ではなく『魔女の宅急便』、それから同じ動物ものでも『マダガスカル』ではなく『ライオンキング』の2本。最新作『ハウル』はお好みでなかったらしい。ちなみに一緒に見ていた大人も理解できなかったから仕方がない。「木村拓哉は声もいいねー」、「宮崎駿は世界を意識しすぎちよる」、「あの案山子は結局何?」、お茶の間の率直な意見である。私も象徴的意味の強い宮崎作品よりは、物語がストレートな昔のものが好きだ。

さて、お気に入りとなった『魔女の宅急便』と『ライオンキング』だが、彼女はそれらから多くを学んだようである。「『ライオンキング』ってどんな話?」と聞くと、「パパライオンが死んでー、シンバがパパライオンになる話」(ほお。)死の意味を理解したか否かは不明だが、あたっちよる。「相変わらずやがねー…」という家族の会話を聞いて、「『相変わらず下手ねー』ってキキのママが言うもんね。」(確かに。)さらにキキのセリフを自分のものにして「そんなことになりませんよーだ」と反論。(あ、そ!)2才を相手に大人げなく振り回されながらも、日々言葉を増やしていく姪に感嘆させられっぱなしであった。入院中だった妹は少しテレビっ子になった姪に不安げな様子であったが、姉としては、新しい言葉をたくさん「教えた」有意義な時間だったと前向きに捉えている。そうそう、『シンデレラ』や『ライオンキング』の英語版を見せても彼女は違和感なく楽しんでた。何をどこまで理解しているのか?恐るべき2才児!

次のこのコーナーは、時枝先生にお願いします。

(宮内 妃奈)